



平成27年8月5日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根  
(コード番号 6619 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 CFO 兼経営企画本部長  
竹 居 邦 彦  
(TEL 03 - 5436 - 7155)

## 中期経営計画『Vision 2017』策定に関するお知らせ

ダブル・スコープ株式会社(以下、WS)では、2017年12月期までの中期経営計画『Vision 2017』を策定いたしましたので、概要を以下のとおりお知らせいたします。

当社は今年で創立10周年の節目を迎え、当社グループがメンブレンフィルム専門メーカーとしてのリーディングカンパニーを目指すスタートラインとして、新たに中期経営計画『Vision 2017』を策定致しました。

当中期経営計画では、既存のセパレータ事業の確立及び新規事業への取り組みをベースとした成長戦略並びに顧客ニーズに対応すべく積極的な設備投資を実行することにより、目標としての計数計画を掲げました。

今後の新たな10年に向けて、当社グループの持続的な成長と企業価値の最大化を図ってまいります。

### 記

#### 1. ビジョン

メンブレンフィルム専門メーカーとして、リーディングカンパニーを目指します。

#### 2. 成長への基本戦略

##### ① リチウムイオン電池用セパレータ事業

WSが生産する湿式リチウムイオン電池用セパレータ市場は、民生用用途においては容量拡大が求められていることに伴う需要の増加、また、安全性の厳格な車載用途の市場拡大も見込まれていることなどから、持続的な成長が予想されます。これらを前提に以下の基本戦略により成長を指向していきます。

- ・当社製品の特徴を活かす
- ・安定的な供給能力の確保の為に持続的なライン投資を実施
- ・生産性の向上による価格競争力の維持と利益率の両立
- ・リチウムイオン電池メーカーグローバルトップ5社顧客との取引拡大

##### ② 新規事業への取り組み

WSの事業はリチウムイオン電池用セパレータですが、メンブレンフィルム専門メーカーとしてのリーディングカンパニーになることを目指し、新規事業に取り組んでおります。具体的には、リチウムイオンキャパシタ、レドックスフロー用電池、燃料電池など産業用途、淡水化用イオン交換フィルターやメディカル用途への展開を検討しております。

これらを前提に以下の基本戦略により成長を指向していきます。

- ・セパレータで培った生産技術を活かす
- ・技術的差別化要因の獲得を目標に助成金を活用し、研究開発を実施
- ・用途開発においては潜在顧客との協業を行う

### 3. 設備投資計画

WSでは既存敷地(76,000 m<sup>2</sup>)に加え第二区域(約35,000 m<sup>2</sup>)を確保しております。これらによりWSのセパレータ用生産ラインでは6本程度の拡張余地を確保しております。2015年7月末現在3ラインが量産稼働中であり、4ライン目が量産移行中であり、今後3年間で新規ラインを増設し、顧客への供給責任を果たしていきます。

具体的な設備投資計画は以下を想定しています。

- ・3年以内に既存の生産ライン4本と同等程度を増設
- ・3年間における設備投資総額は80億円以上を想定
- ・3年間の研究開発費予算は10億円以上を想定

### 4. 計数目標(連結ベース)

|       | 2014年<br>12月期(実績) | 2015年<br>12月期(予想) | ・・・ | 2017年<br>12月期(計画) |
|-------|-------------------|-------------------|-----|-------------------|
| 売上    | 4,522百万円          | 7,300百万円          | ・・・ | 13,000百万円以上       |
| 営業利益率 | 7.3%              | 17.8%             | ・・・ | 18%以上             |
| ROE   | 4.7%              | 11.0%             | ・・・ | 11%以上             |

前提条件

|                            |       |                                   |     |       |
|----------------------------|-------|-----------------------------------|-----|-------|
| ドル・円レート<br>(円/米ドル)         | 105.7 | 上半期実績<br>120.25<br>下半期想定<br>115.0 | ・・・ | 115.0 |
| 円・KRWレート<br>(円/1,000韓国ウォン) | 100.4 | 上半期実績<br>109.4<br>下半期想定<br>110.0  | ・・・ | 110.0 |
| 実効税率                       | 7.1%  | 11.0%                             | ・・・ | 11%   |

※本資料に記載されている将来の業績に関する予想、計画等は現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以 上